

学校法人旭川荘 平成30年度事業報告

I) 旭川荘厚生専門学院

(1) 卒業生の進路状況

区分	卒業生	就職	進学	その他	就職先の内訳
児童	36	36	—	—	旭川荘 7, 保育所・こども園 19, 障害児者施設 6, 一般企業 4
看護	113	109	1	3	旭川荘 4, 病院等 105(県内 58, 県外 47)
介護	16	15	—	1	旭川荘 5, 老人福祉施設 10
精神	26	26	—	—	旭川荘 3, 行政機関 2, 病院 8, 福祉施設 10, 一般企業 3
合計	191	186	1	4	

※進学：助産師資格取得 その他：国試受験準備 3(看護)、療養中 1(介護)

(2) 国家試験の状況

区分	受験者数	合格者数	合格率(%)
児童	—	—	—
看護	113	110	97.3
介護	16	16	100
精神	26	20	76.9

(3) 平成31年度入学者選抜試験状況

区分	定員	31年度	30年度
児童	50	29	27
看護	120	106	130
介護	40	19	22
精神	40	11	26
合計	250	165	205

(4) キャンドルサービス、戴帽式

入学後6ヶ月を経過した学生が、専門職を目指す意思を固める儀式

①キャンドルサービス 10月3日(水) 対象：児童27人、介護19人

②戴帽式 10月5日(金) 対象：看護128人

(5) 保育の玉手箱

近隣の保育園児や障害のある旭川荘各施設利用者を招待し、本学で学んだ表現力を活かしたオペレッタや器楽演奏、ダンスを児童福祉学科の学生が発表し、参加型交流の場とした。

開催日：12月26日(水) 招待者：130人

会場：厚生専門学院リズム棟

(6) 吉井川キャンパス付帯事業

①介護実務者研修(通信教育)

入校コース 4・5・6・7・8・9・10・2・3月入校

学習期間 6ヵ月(期間中6日間のスクーリング)

修了者数 54名

②喀痰吸引等基本研修

開講期間 A：平成30年5～8月 B：平成30年11月～平成31年2月

学習期間 通学8日間（講義7日、実技1日）
修了者 基本研修37名、実地研修39名（委託先施設）
研修体系：基本研修（本学）+実地研修（委託先施設）→「資格取得」

（7）社会・地域貢献事業等

①離職者を対象とした資格取得促進事業（県産業労働部）

保育士養成 14名（1年生 3名、2年生 11名）
介護福祉士養成 1名（2年生 1名）
精神保健福祉士養成 5名（1年課程）

②おかもま子育てカレッジ地域貢献事業（県備前県民局）

児童福祉学科の学生及び教員が、地域の子育て支援団体等と連携し、遊びを通じた子育て支援や高齢者との交流、子育て相談会などを実施した。

実施回数：9回（6月から2月）

参加者数：乳幼児・児童208人、保護者・家族等116人、高齢者35人

実施場所：厚生専門学院リズム棟、結びの杜三世代交流センター他

（8）社会福祉法人旭川荘との連携

①カレッジ旭川荘

体育大会や学院祭などの学院行事や文化活動入門（授業）にカレッジ生全員が参加したほか、科目「こころのしくみ、人間関係とコミュニケーション」等8科目を4名が聴講した。また、週1回2時間、本学相談担当職員がカレッジ生の相談にあたった。

②学生・受講生指導

療育・医療センターなど旭川荘職員45人から講義や演習の指導を受けた。

③施設実習

旭川敬老園など25施設で、学生延753人（児童、看護、介護）が臨地実習を行った。

④人事交流

看護学科教員・事務局職員として2名を受け入れ、1名を旭川学園に出向させた。

⑤アルバイト

旭川敬老園など14施設で152人がアルバイトを行った。

⑥ボランティア

延124人の学生がボランティアとして旭川荘子どもまつりなどの行事を支援した。

（旭川荘夏まつりは平成30年7月西日本豪雨災害で中止された）

II)旭川荘療育アカデミー

（1）「障害児（者）療育総合課程」

開催回数：24回「5月26日（土）から11月17日（土）」

受講者数：28名（定員40名） 修了者数：23名

科目聴講：延307名

（2）夏季講座

開催日：平成30年8月10日（金） 受講者：114名

会場：高梁総合文化会館

テーマ及び講師

「発達障害の基礎と支援の方法を学ぶ」

～応用行動分析によるアプローチ～

井上 雅彦 鳥取大学大学院医学研究科臨床心理学講座 教授

「発達障害児者の心の発達を支援するための技法」

～「認知的・情緒的共感性」を育てるためのカラクリ～

松本 好生 旭川荘養育アカデミー学院長

「発達障害児者へのコミュニケーション技法」

中西 仁志 旭川荘厚生専門学院 児童福祉学科専任教員

(3) 特別支援教育講座～小学校編～

開催日：平成30年12月2日（日） 受講者：49名

会場：旭川荘研修センターよしい川

テーマ及び講師

「通常学級における多様な児童に応じた学習指導」

～多層指導モデル(MIM)の考え方と実際～

山崎 陽子 山陽小野田市立小野田小学校教諭

「学童期における発達障害児の「心の理論障害」の背景にある障害特性」

～認知的・情緒的共感性を育てる支援技法～

松本 好生 旭川荘療育アカデミー学院長

「発達障害児を家族にもつ保護者の望ましいケアの仕方」

河本 茂美 おかやま発達障害者支援センター所長

(4) 吃音研修会

開催日：平成31年2月16日（土） 受講者：65名

会場：旭川荘研修センターよしい川

テーマ及び講師

「分かりやすい吃音の理解と支援」

菊池 良和 九州大学病院・耳鼻咽喉科医師（助教）

「吃音相談外来を始めて思ったこと」

岡部 健一 旭川荘南愛媛病院院長

(5) 放課後児童クラブ支援員等研修講座

開催日：平成31年2月24日（日） 受講者：54名

会場：旭川荘研修センターよしい川

テーマ及び講師

「放課後児童クラブの現状と課題」

～家庭の代替機能が及ぼす子どもへの心の発達と愛着障害を踏まえて～

松本 好生 旭川荘療育アカデミー学院長

「発達障害の理解と支援について」

～放課後児童クラブを利用する子どもと保護者を理解し、支えるために必要なこと～

河本 茂美 おかやま発達障害者支援センター所長

Ⅲ)法人本部

岡山県等から要請を受けた事業を下記のとおり実施した。

(1) 岡山県相談支援従事者初任者研修

研修日程：講義2日間（7月） 演習3日間：A日程（7～8月）、B日程（8月）

会場：旭川荘研修センターよしい川他 修了者：210名

(2) 岡山県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修

研修日程：講義3日間（9月、11月） 演習2日間（11～12月）

会場：きらめきプラザ

修了者：389名（内訳：介護78名、児童126名、就労129名、地域生活56名）

(3) 医療的ケア児等コーディネーター養成研修

研修日程：講義2日間（11月） 演習2日間（11月）

会場：旭川児童院 修了者：59名

(4) 岡山県相談支援従事者現任研修

研修日程：講義1日（1月） 演習2日間（1月）

会場：きらめきプラザ 修了者85名